

【日 時】 ①2014年10月20日(月) 11:00~14:00

②2014年10月27日(月) 10:00~14:00

【会 場】 ABC マート隣り

【参加者】 出店ブースごとの集計(のべ人数)

①男性 6名 女性 168名 子ども 31名 合計 205名

②男性 11名 女性 139名 子ども 78名 合計 228名

【主 宰】 中田 尚美

【協 力】 まちづくりスポット神戸、BRANCH 神戸学園都市

■事業の目的

7月~8月実施した「まちそだて講座」のディスカッションで「多世代交流ができるコワーキングサロンをつくりたい」との意見を具現化するために試験的に実施。この体験からの反省点などを踏まえ、実現に向けて準備する。

■事業の内容

子どもから、シニアまでどなたでも楽しんでいただける多世代がくつろげるサロンを実施真ん中に Kids スペースを配置し、各種ワークショップブース、抹茶カフェ、折紙コーナーなどを実施。雑誌を置き、あたたかいお茶をセルフサービスで飲んでいただくなど、その場で出会った人とのおしゃべりを楽しんでもらう。

①アロマハンドマッサージ、パステルアート、エコクラフト、レジン(透明樹脂で作るアクセサリー)、ボディジュエリー、くるみボタン、折紙等のワークショップ、小物販売

②パステルアート、レジン、くるみボタン、グルーデコ、スクラップブックング、ボディジュエリー、販売：粘土細工、布小物、さをり織など

■良かった点、成果

- ・ 広報期間も短い中、外へ向けての PR が不足していたにも関わらず、出店者や関わる人それぞれが、口コミで広めて集客につながった。
- ・ 入口前に抹茶カフェを出したことで、注目してもらえ、偶然立ち寄った人も多くいた。
- ・ 一回目の経験が生きて、2 回目は余裕をもった接客ができたことが、くつろいでいただく空間づくりにつながった。(ひとり当たりの滞在も時間が長くなっていた)
- ・ 2 回目は、年配の方のブース出店があり、若い人たちとのおしゃべりも弾んでいた。さまざまな世代が出店することで、多世代交流の可能性が広がる。
- ・ 真ん中に保育マットを敷いて、子連れの方も入りやすく、くつろげる空間となっていた。
- ・ 初回、社会貢献塾修了生の半田さんが、皿回しを披露。子どもや若い方々から拍手喝采。地域にはいろんな特技を持った人がいることを感じた。居場所と同時に活躍の場をつくることが出来た。

- ・頭で考えていても、想定外の事が起こる。実際に体験することの意義は大きかった。主宰者が、いきいきしていた。⇒今後の活動につなげ、支援していきたい
- ・駐車場が目の前、店舗がすぐ見えるという利便性の方が優位に立ち、2階であることのデメリットは感じなかった。(特に荷物の多い子育て中の方に好評)
- ・明るく、授乳室が確保され、水回りがあるので、イベント開催しやすかった。
- ・BRANCHの協力で、店舗前看板、ポスター、店舗案内など作成していただいたお蔭でたくさんの方に周知していただけました。

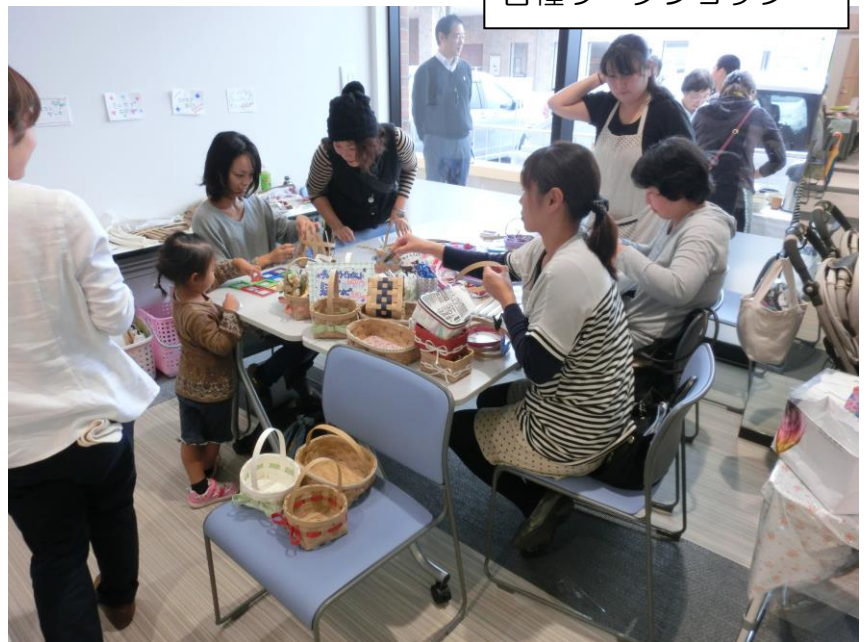
■課題・反省点

- ・想定外の多数の来場にゆっくりくつろいでいただくスペースや対応する余裕がなかった。
- ・出店ブースの内容が若い女性向けのものがほとんど。男性が入り辛い
- ・「どなたでも入れる」ということがわかる表示がなかった
- ・開始時刻を11時としていたが、BRANCH開店と同時に人が集まりだした。やはり、開店時間は10時とした方が良い。(2回目は10時から開店)
- ・人の流れやベビーカーでの来店を想定した通路の確保などに配慮したレイアウトにすべきだった。
- ・備品類を1階から持ってあがり、下ろすという労力が必要。





店舗前での抹茶カフェ



各種ワークショップ





お茶を飲みながらの
おしゃべりする人
雑誌を読む人
折り紙を覚えてもらう
子ども達
過ごし方もさまざま



社会貢献塾修了生
荷物運びや
レイアウトのお手伝い
そのあとは、得意の
皿回しを披露



子どものマーサッジ屋さん
赤ちゃん連れのママと
会話しながら丁寧に。